

やさいレポート（令和8年9月号）



キャベツ



発行日：令和8年9月8日

1. 卸売価格の動向

○103 円/kg（9月5日）

➢ 平年比：124%

○9月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○224 円/kg

（8月14日全国平均）

➢ 前月比：135%、平年比：152%

➢ 東京：292 円（1玉）

➢ 大阪：252 円（1玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：3/20（前月 9/20）

➢ 大阪：2/10（前月 3/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○431 g/人（7月全国平均）

➢ 前月比：95%

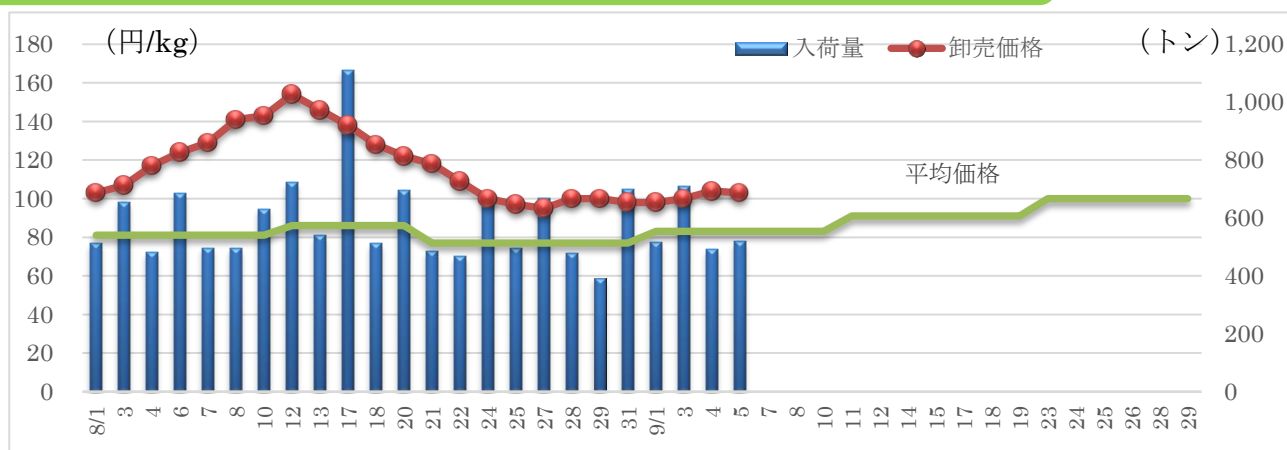
➢ 前年同月比：89%

○5,293 g/人（2025 年年間）

➢ 前年比：99%

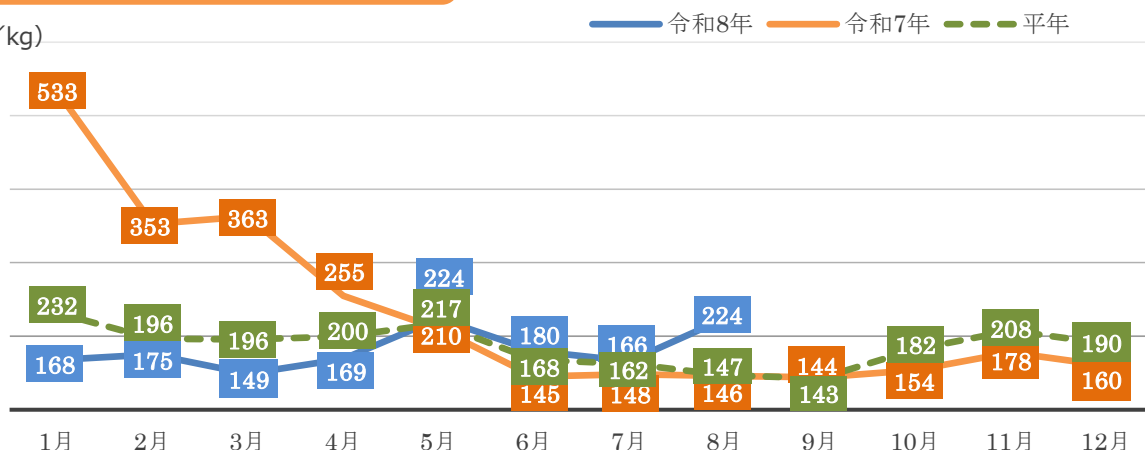
（総務省統計局家計調査）

4. キャベツの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. キャベツの小売価格の推移

（円/kg）



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道南幌町 (8/20)	前年並み	豊作～やや良	平年並み	平年並み
岩手県いわて (8/6)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
群馬県嬬恋村 (8/21)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
東京都練馬区 (8/20)	前年並み	—	—	

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



群馬県嬬恋村：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報(9/5～10/2)

週 別 の 天 候				
9/5～9/11	北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 東・西日本では、活発な秋雨前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、台風や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
9/12～9/18	北・西日本と東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、活発な秋雨前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 東日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
9/19～10/2	北・東日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温(1か月)	降水量(1か月)	日照時間(1か月)
北日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向(生鮮キャベツ)

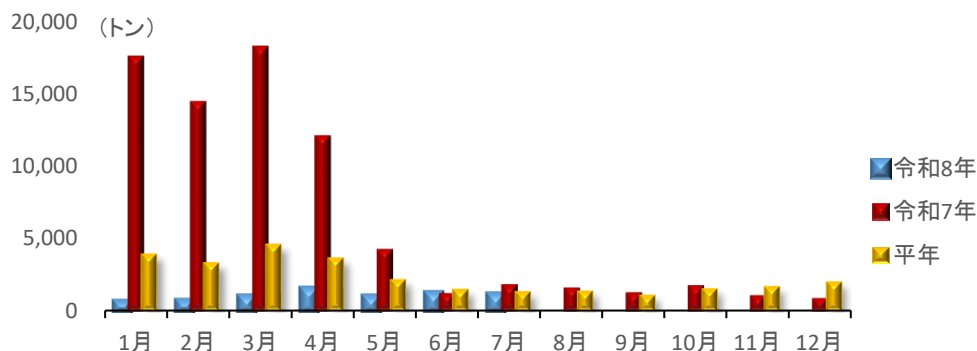
○1,054 トン(7月輸入量)

➢ 前年同月比: 61%

○輸入先国ベスト3

全量、中国からの輸入

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

8月は、群馬県・岩手県産主体の入荷となった。7月中旬以降、高温・干ばつにより小玉傾向等となり、平年に比べて2割近く入荷が減ったこと、家庭及び業務用においても需要が高い野菜であることもあり、月を通して平年を大幅に上回る価格となった。

9月は、引き続き群馬県・岩手県産主体の出荷となる。群馬県産は高温・干ばつ等の影響で小玉傾向であったが、その後の天候回復により生育も回復傾向。岩手県産の生育も概ね順調であることから、出荷量・価格とも平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探: <https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課